



10月1日(土)、秋の合同供養祭を月見野工場内の「つきかげの郷」にて行いました。

秋のペット 合同供養祭

みなさん、こんにちは♪
夏号の清砂キャンペンでは、例年以上のお客様にご来店いただきました。誠にありがとうございます！
夏の厳しい暑さから、朝晩の冷え込みを感じる季節になりましたね。
スポーツで体を動かし、おいしいものを食べて、ウイルスに負けない体作りをしましょう！
それでは、秋号スタートです。



50名近いお客様が来場し、花筒に入りきれない程の花やお墓に載せ切れない程のお菓子や写真が供えられていました。亡くなった後もこれだけ思ってくれる人がいて、ペットちゃんは幸せだなと思いました。お客様に安心してペットちゃんを預けていただけるよう、今後も心を込めて、供養のお手伝いをさせていただきます。

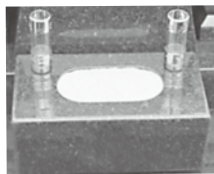


普段は開放していますので、月見野霊園の近くにお越しの際はご自由にお参りください。
来年の春の供養祭もお待ちしております。

お墓の雪囲い

今年も雪囲いの時期が来ますね。取り付けは12月15日頃まで、取り外しは雪解けの状態を見ながら、遅くともGWまでに取り外します。作業内容や取り付け、取り外し時期の希望がある方はご連絡ください。
締切は11月15日(火)まで。料金や作業内容についてはお問合せください。

- ① 墓石の拭き掃除
- ② ビニールをかぶせ、雪囲い完了。
- ③ 春先、雪解けの状態を見ながら雪囲いを外します。
- ④ ロープとビニールを外し、墓石の拭き掃除。
- ⑤ お線香立ての砂を取替え完了。



お花のバンチ

今年もたくさんの方にご利用いただき、誠にありがとうございました。今年度は10月31日(月)を最終営業日とさせていただきます。
来年の営業開始は、カムカムはっぴい春号や当社ホームページにてお知らせいたします。

来年もご来店お待ちしております。



政治と宗教の話？

日本では、仕事、親戚、友人などの日常の付き合いの中で、政治と宗教の話はしない方が良く言われます。

では政治と宗教を考えなくて良いのかというと、そうではないでしょう。むしろ政治は自分の生活や将来を決めるもので大切です。それでも大切なことを互いに話し合わないのはなぜか？政治と宗教にはどうしても意見の違いがあり、正しいか正しくないかをぶつけ合うと、争いになってしまうからです。

そこから大切です。意見の違う相手とどう付き合うか。大切であってもぶつかるから避けておくのがひとつの解決法ですが、いつでも避けていては進歩しません。そこから知恵の世界です。デンマークにいる娘の旦那さんが言っていました。「何かを話し合うと意見の違いがあるから論争になるが、ジャッジはしない」ジャッジとは善悪とか正誤の判定を決めつけること。自分にも相手にもそれなりの言い分があるので、価値観を押し付けると争いになってしまう、だからジャッジせずに意見の違いは互いに尊重するということです。デンマークは、経済や福祉や教育の先進国とよく聞きますが、100年前は貧乏な農業国だったそうです。その国を教育で変えていくという理念で動かしたのが、牧師で教育者のグルントヴィでした。(興味あるかたはネットで検索してみてください) ただしデンマークは人口が日本の20分の1の580万人ですから、政治のリーダーと選挙民が互いによく知っていることなど日本とは違う状況でもあります。日本には日本のやり方が必要です。

ついつい意見の違いを相手の人格まで一緒にして責めてしまうことがあります。なかなか客観的に捉えることは簡単ではありませんが心がけたいものです。

宗教は、どう定義するかで、変わります。語源は明治時代にreligionという英語を翻訳したものと聞きました。religionには宗教の他に信仰の意味もあります。私は宗教が現代の日本で、なにかマインドコントロールして人を動かすというような悪い意味で広がっていることを残念に感じています。

例えば、ユダヤ人の定義はなにかというと、ユダヤ教の信者、またはユダヤ人の母から生まれた人と言われます。正統派や世俗派など多くの宗派があり、信仰のスタイルも様々なようですが特に教育を重視する宗教で世界で科学、経済、芸術など多くの分野で有力な存在です。

振り返って日本人をみると、クリスマス、新年の参拝、お盆やお彼岸のお墓参り、お葬式、結婚式など、クリスチャンなのか、神道なのか、仏教徒なのかと、一神教の人から見ると不思議な信仰に見えるようです。私は、日本の宗教は、一神教のスタイルとどうも次元が違うと感じています。多神教といえるのか？山川草木悉皆成仏といってこの世の全てに仏性が宿るという考えも日本では自然に受け入れています。汎神教と言えるかもしれません。宗教の発生する源の自然をみると、中東の砂漠や欧州の寒冷地と比べて、日本は豊かで住みやすい環境だといえるでしょう。そこから厳しい自然を克服する宗教ではなく、恵まれた自然に感謝する宗教が生まれたのではないのでしょうか。

ローマは一日にして成らず

(看板の英文の訳)

ローマは一日にしてならず。
もし成るなら、私はその請負会社と契約しています。

広告主はマサチューセッツ州知事と議長です。

ちょっとしたユーモアですが、堂々と将来の道路交通のために、今の不便に耐えてくださいとアピールしています。(番地常夫)

